

# 高齢者の介護と福祉に関するアンケート調査結果

高齢福祉課

## 1 調査目的

県では、高齢者や福祉に関する施策の基本目標を定めた「第6期岐阜県高齢者安心計画（平成27～29年度）」を策定し、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を継続できる環境づくりを進めています。

今回、県民の皆さんの認識を把握し、今後の高齢者福祉行政の推進及び第7期の計画策定の基礎資料とさせていただくため、調査を実施しました。

## 2 調査対象など

調査対象：県政モニター678人（うちインターネットモニター382人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成28年11月16日～12月9日

回収結果：548人（回収率80.8%）

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

## 3 結果概要

### ○ 介護に関する不安について

介護に関する将来を含めた不安については、「介護にかかる費用への不安」、「家族や自分自身の介護負担・介護疲れへの不安」にそれぞれ59.9%の方から、「必要となったときに、施設に入れるかどうか不安」に58.6%の方から回答があり、この3点について多くの方が不安を持たれている。

### ○ 介護を受ける状態になった時の生活場所等について

介護を受ける状態になった時の生活場所、介護の希望については、68.9%の方が自宅での生活、介護を望まれている。

また、48.2%の方は自宅で生活を続けたいが、「要介護度が重くなった場合、施設に入所したい」と回答されている。

### ○ 介護を受けずに元気に生活し続けるために必要と思うことについて

介護を受けずに元気に生活し続けるために必要と思うことについては、「スポーツや体操をするなど体を動かす」という回答が67.2%と一番高くなった。

また、元気に生活を続けるために実践していることについても、「スポーツや体操をするなど体を動かす」という回答が45.6%と一番高くなった。

### ○ 地域包括支援センターの認知度について

地域包括支援センターの認知度については、「業務内容も、どこにあるかも分からない」と回答された方が50.3%であった。

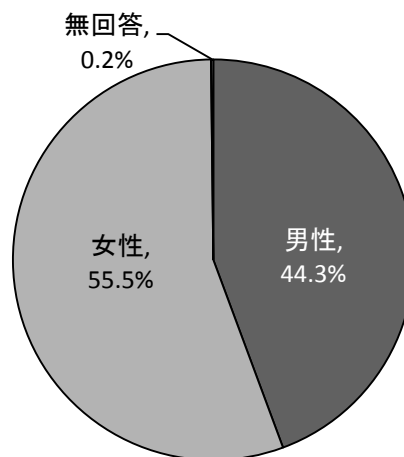
### ○ 介護の仕事のイメージについて

介護の仕事のイメージについては、「体力的にきつい仕事である」と回答された方が82.3%と一番高くなった。

## 4 回答者属性

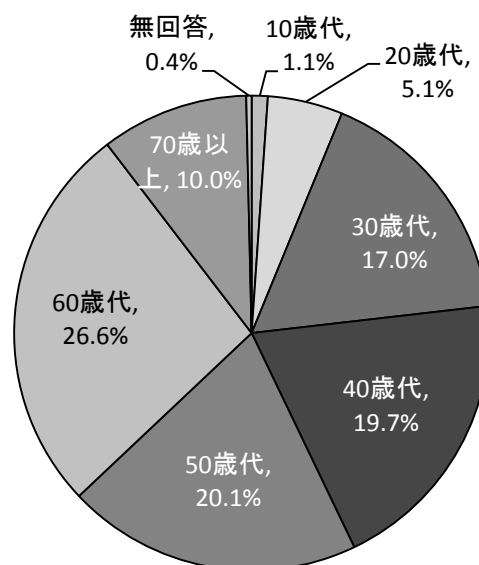
### (1) 性別

	人数	割合
男性	243	44.3%
女性	304	55.5%
無回答	1	0.2%
計	548	100.0%



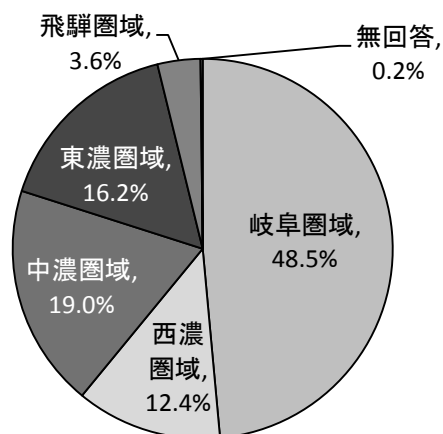
### (2) 年代別

	人数	割合
10歳代	6	1.1%
20歳代	28	5.1%
30歳代	93	17.0%
40歳代	108	19.7%
50歳代	110	20.1%
60歳代	146	26.6%
70歳以上	55	10.0%
無回答	2	0.4%
計	548	100.0%



### (3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	266	48.5%
西濃圏域	68	12.4%
中濃圏域	104	19.0%
東濃圏域	89	16.2%
飛騨圏域	20	3.6%
無回答	1	0.2%
計	548	100.0%

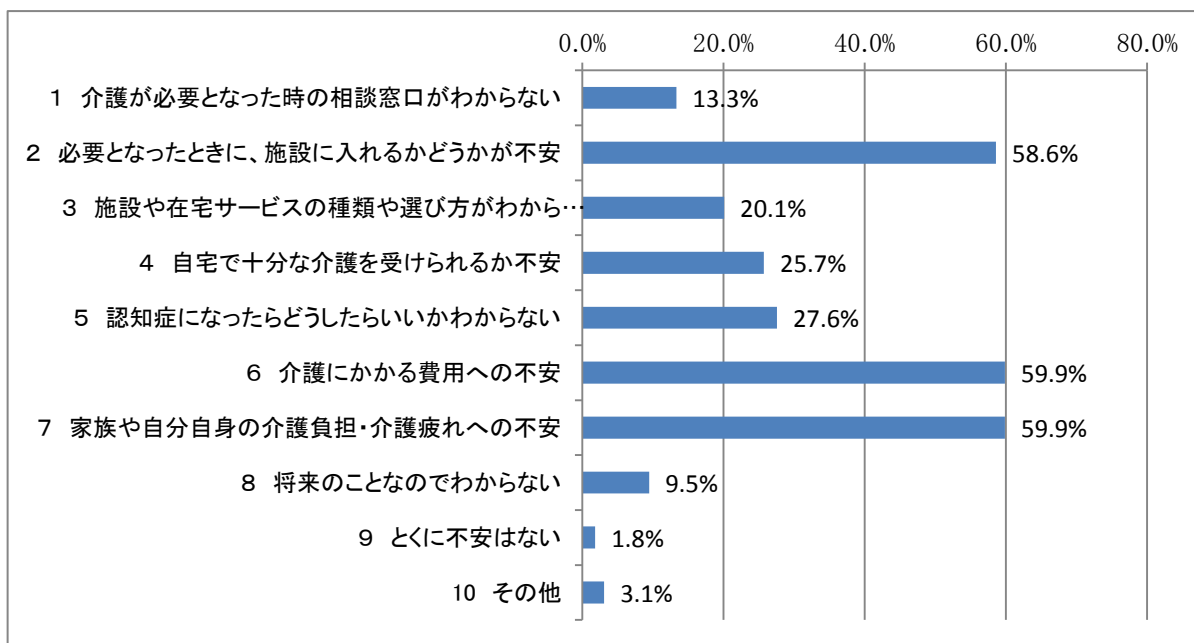


## 5 調査結果

問1 あなたは、介護に関して、将来を含め不安がありますか。

(複数回答) 回答者 548 人

	回答数	割合
1 介護が必要となった時の相談窓口がわからない	73	13.3%
2 必要となったときに、施設に入れるかどうか不安	321	58.6%
3 施設や在宅サービスの種類や選び方がわからない	110	20.1%
4 自宅で十分な介護を受けられるか不安	141	25.7%
5 認知症になったらどうしたらいいかわからない	151	27.6%
6 介護にかかる費用への不安	328	59.9%
7 家族や自分自身の介護負担・介護疲れへの不安	328	59.9%
8 将来のことなのでわからない	52	9.5%
9 とくに不安はない	10	1.8%
10 その他	17	3.1%
計	1,531	-

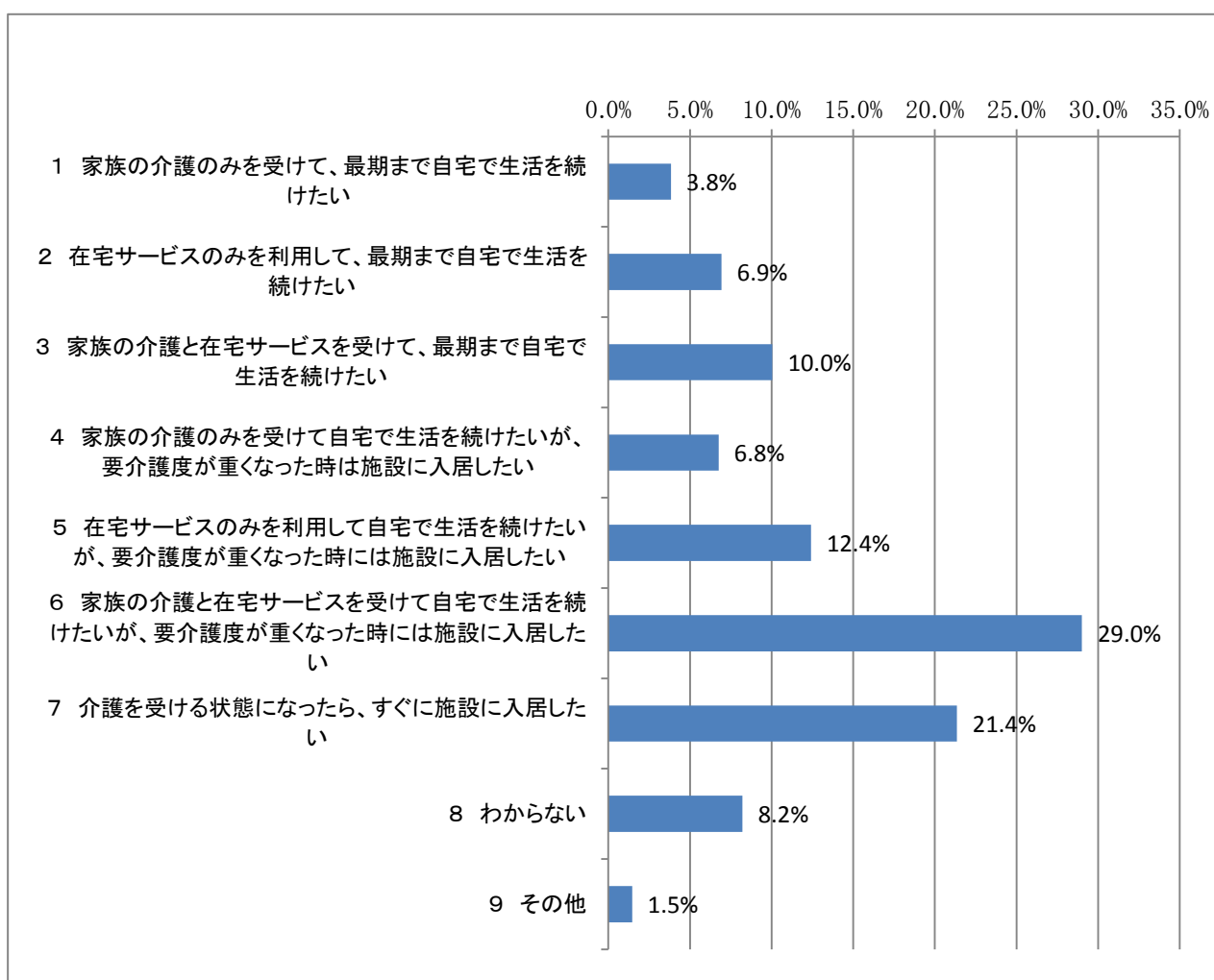


### [その他意見]

- ・自分が認知症になったとき、子供に迷惑をかけたくない
- ・高齢者が増えるので、地域ぐるみの支援体制の整備を進めてほしい
- ・あまり考えないように、日頃から健康に気を付けている など

問2 あなたが介護を受ける状態になったときに、どこで生活し、どのように介護してもらいたいですか。

	人数	割合
1 家族の介護のみを受けて、最期まで自宅で生活を続けたい	21	3.8%
2 在宅サービスのみを利用して、最期まで自宅で生活を続けたい	38	6.9%
3 家族の介護と在宅サービスを受けて、最期まで自宅で生活を続けたい	55	10.0%
4 家族の介護のみを受けて自宅で生活を続けたいが、要介護度が重くなった時は施設に入居したい	37	6.8%
5 在宅サービスのみを利用して自宅で生活を続けたいが、要介護度が重くなった時には施設に入居したい	68	12.4%
6 家族の介護と在宅サービスを受けて自宅で生活を続けたいが、要介護度が重くなった時には施設に入居したい	159	29.0%
7 介護を受ける状態になったら、すぐに施設に入居したい	117	21.4%
8 わからない	45	8.2%
9 その他	8	1.5%
計	548	100.0%



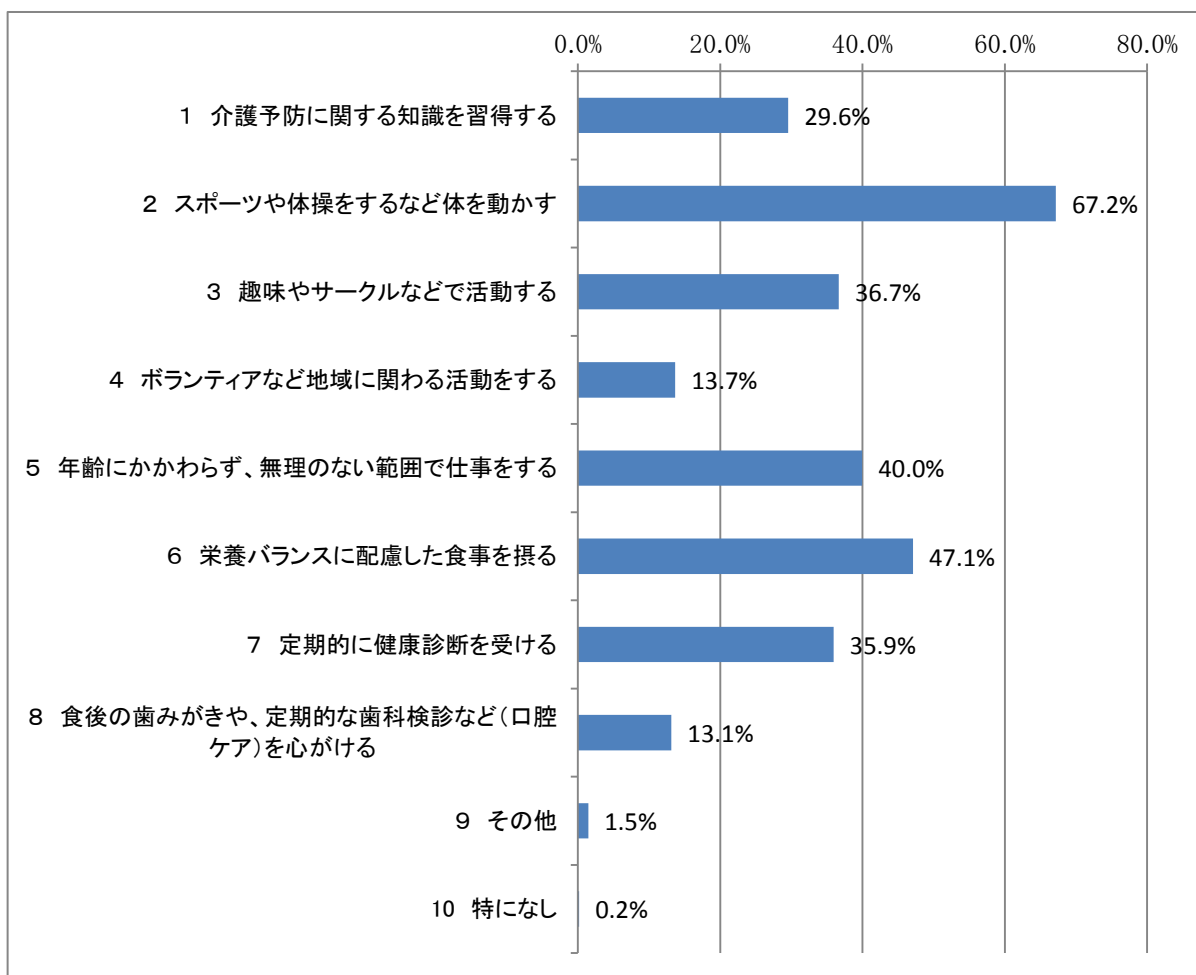
[その他意見]

- ・自宅で生活を続けたいが、要介護度が重くなった時にはできる限り家族に迷惑のかからない方法を選びたい
- ・家族の負担になりたくない など

問3 (1) 今後、あなたが介護を受けずに元気に生活し続けるため（介護予防）に、何が必要だと思いますか。

(複数回答) 回答者 548 人

	回答数	割合
1 介護予防に関する知識を習得する	162	29.6%
2 スポーツや体操をするなど体を動かす	368	67.2%
3 趣味やサークルなどで活動する	201	36.7%
4 ボランティアなど地域に関わる活動をする	75	13.7%
5 年齢にかかわらず、無理のない範囲で仕事をする	219	40.0%
6 栄養バランスに配慮した食事を摂る	258	47.1%
7 定期的に健康診断を受ける	197	35.9%
8 食後の歯みがきや、定期的な歯科検診など(口腔ケア)を心がける	72	13.1%
9 その他	8	1.5%
10 特になし	1	0.2%
計	1,561	-



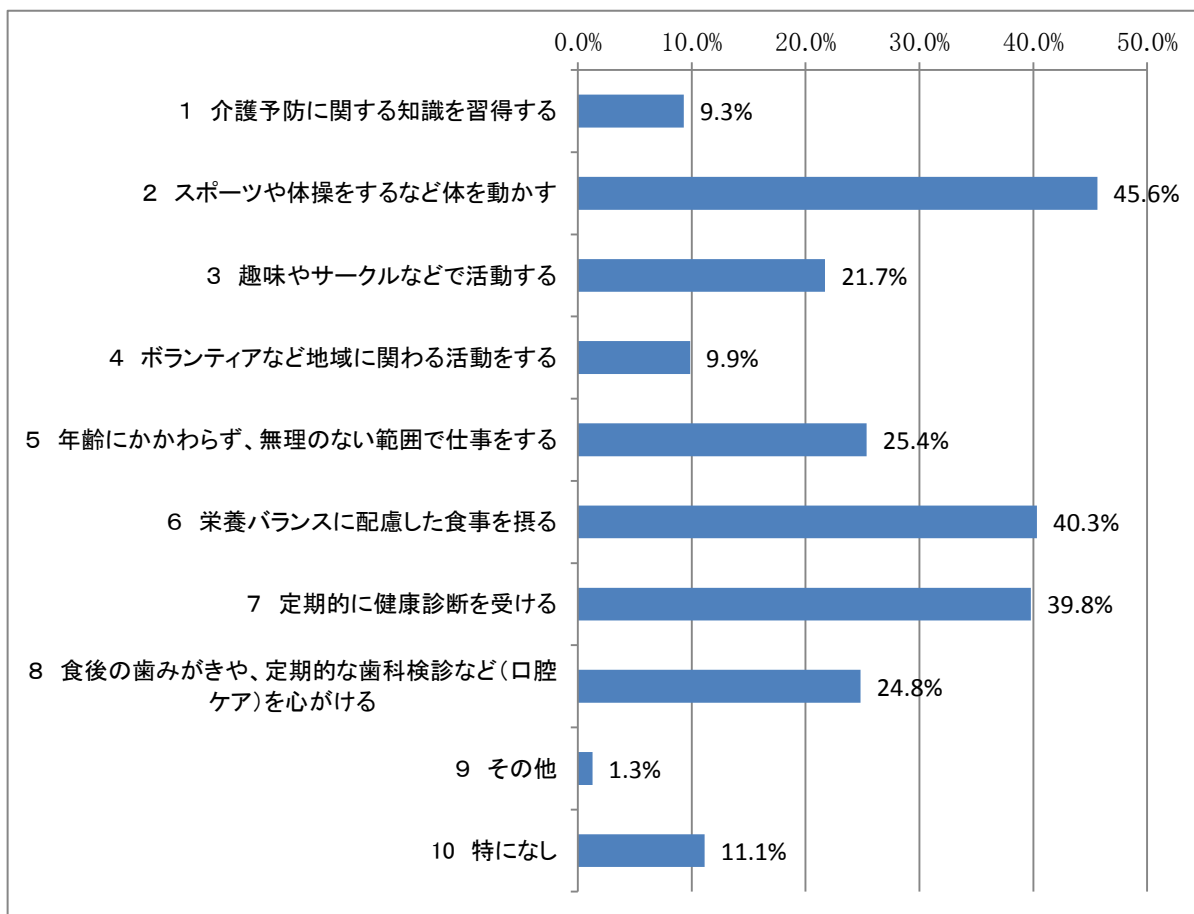
[その他意見]

- ・ ストレスをためない
- ・ 健康補助食品の活用 など

問3 (2) 今後、あなたが介護を受けずに元気に生活し続けるため（介護予防）に、あなたが実践していることはありますか。

(複数回答) 回答者 548 人

	回答数	割合
1 介護予防に関する知識を習得する	51	9.3%
2 スポーツや体操をするなど体を動かす	250	45.6%
3 趣味やサークルなどで活動する	119	21.7%
4 ボランティアなど地域に関わる活動をする	54	9.9%
5 年齢にかかわらず、無理のない範囲で仕事をする	139	25.4%
6 栄養バランスに配慮した食事を摂る	221	40.3%
7 定期的に健康診断を受ける	218	39.8%
8 食後の歯みがきや、定期的な歯科検診など(口腔ケア)を心がける	136	24.8%
9 その他	7	1.3%
10 特になし	61	11.1%
計	1,256	-

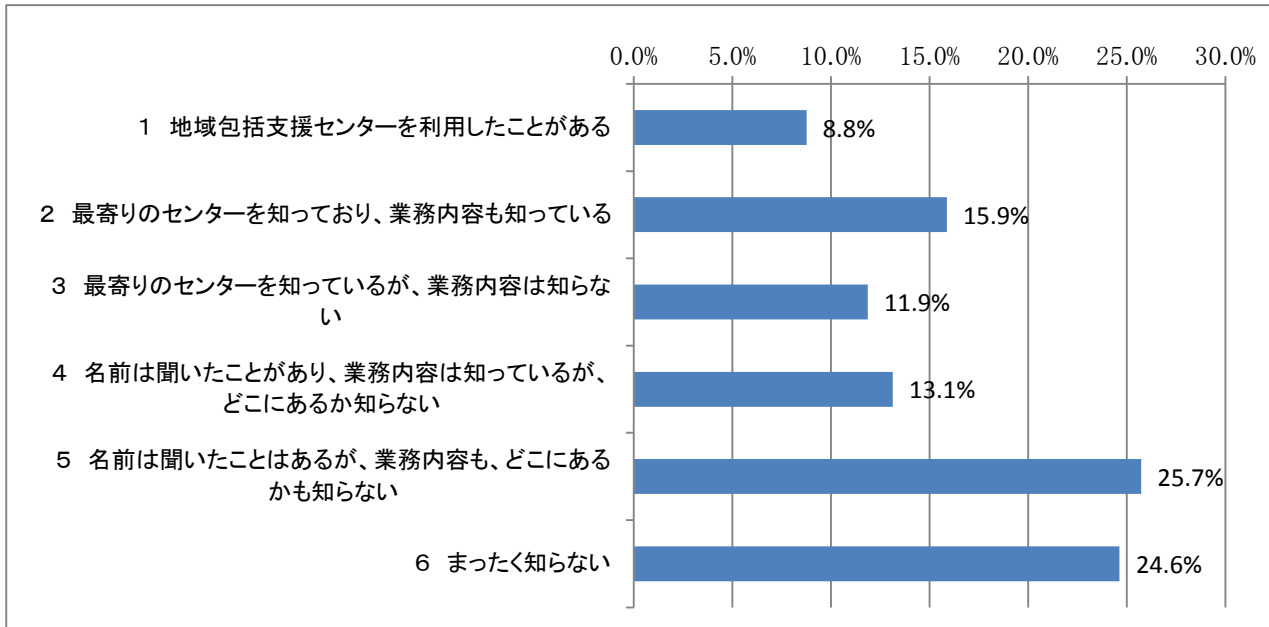


[その他意見]

- ・ストレスをためない
- ・健康補助食品の活用 など

問4 あなたは、地域包括支援センターをご存知ですか。

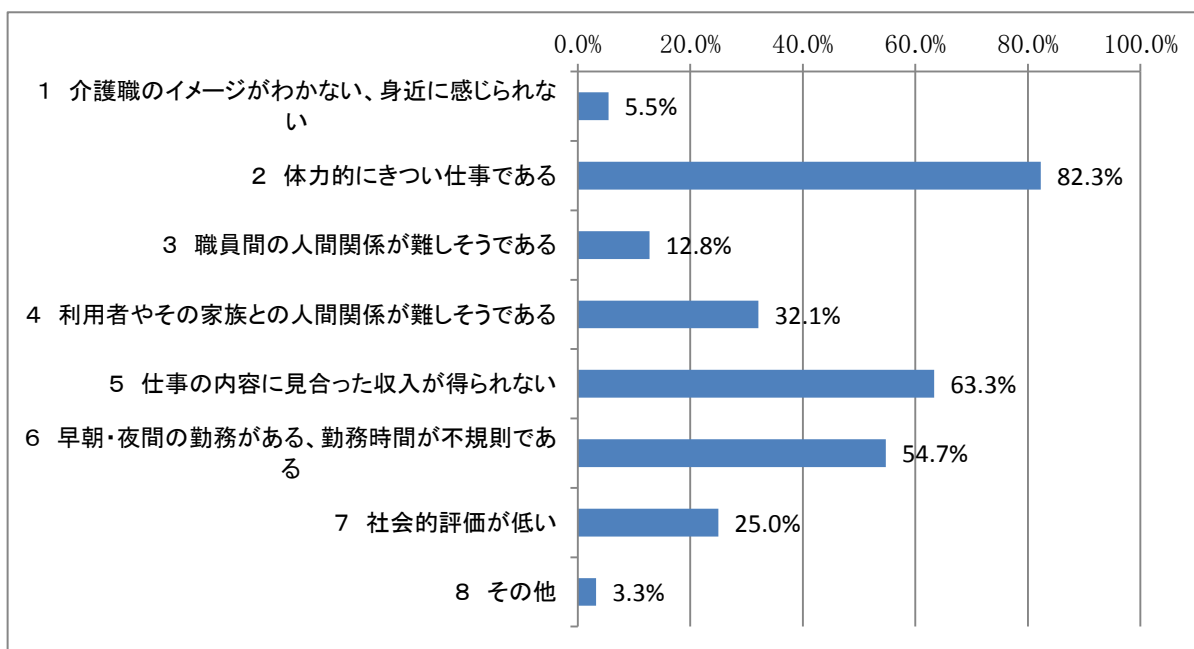
	人数	割合
1 地域包括支援センターを利用したことがある	48	8.8%
2 最寄りのセンターを知っており、業務内容も知っている	87	15.9%
3 最寄りのセンターを知っているが、業務内容は知らない	65	11.9%
4 名前は聞いたことがあり、業務内容は知っているが、どこにあるか知らない	72	13.1%
5 名前は聞いたことはあるが、業務内容も、どこにあるかも知らない	141	25.7%
6 まったく知らない	135	24.6%
計	548	100.0%



問5 高齢化が進み、介護は社会に必要とされる仕事ですが、あなたは介護の仕事に対して、どのようなイメージをお持ちですか。

(複数回答) 回答者 548 人

	回答数	割合
1 介護職のイメージがわからない、身近に感じられない	30	5.5%
2 体力的にきつい仕事である	451	82.3%
3 職員間の人間関係が難しそうである	70	12.8%
4 利用者やその家族との人間関係が難しそうである	176	32.1%
5 仕事の内容に見合った収入が得られない	347	63.3%
6 早朝・夜間の勤務がある、勤務時間が不規則である	300	54.7%
7 社会的評価が低い	137	25.0%
8 その他	18	3.3%
計	1,529	-



[その他意見]

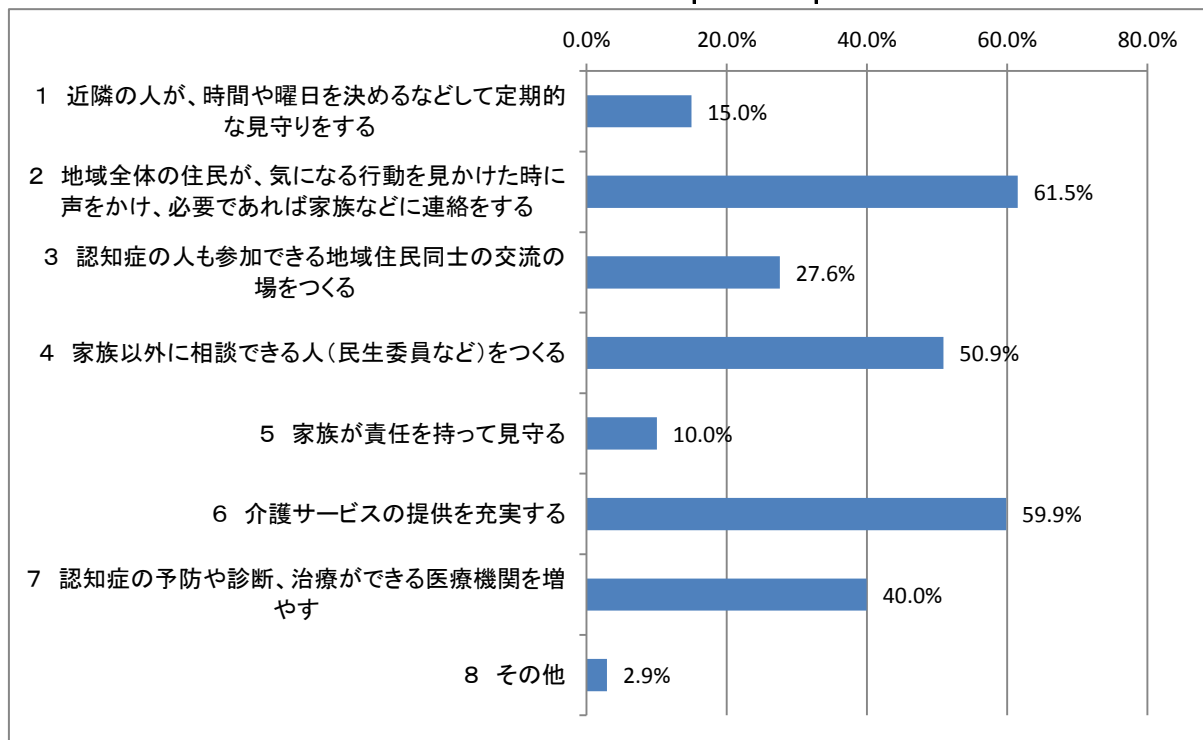
- ・介護職員によって提供されるサービスに差が出る
- ・介護は最も重要な職であり、更なる活躍を期待している
- ・手に職が就く仕事である
- ・社会的評価が低い など



問6 あなたやあなたの家族が認知症となったとき、安心して安全に暮らすためには、あなたは地域においてどのようなことが必要だと思いますか。

(複数回答) 回答者 548 人

	回答数	割合
1 近隣の人が、時間や曜日を決めるなどして定期的な見守りをする	82	15.0%
2 地域全体の住民が、気になる行動を見かけた時に声をかけ、必要であれば家族などに連絡をする	337	61.5%
3 認知症の人も参加できる地域住民同士の交流の場をつくる	151	27.6%
4 家族以外に相談できる人(民生委員など)をつくる	279	50.9%
5 家族が責任を持って見守る	55	10.0%
6 介護サービスの提供を充実する	328	59.9%
7 認知症の予防や診断、治療ができる医療機関を増やす	219	40.0%
8 その他	16	2.9%
計	1,467	-

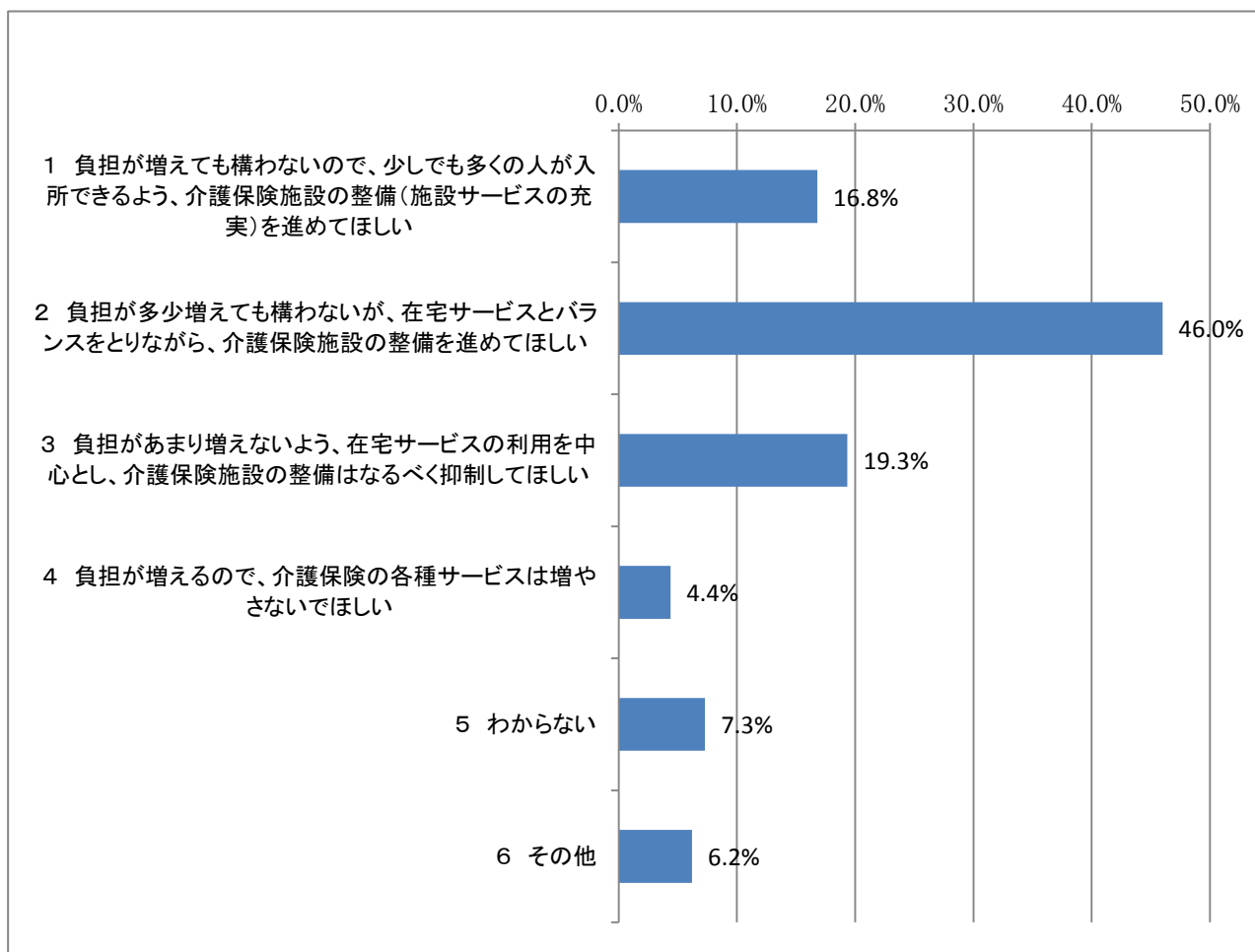


[その他意見]

- ・高齢者が車の運転をしなくてもよい公共交通機関の整備
- ・GPSの有効活用
- ・認知症に関して学ぶ機会
- ・介護をする家族の心のケア
- ・認知症の方も参加できる地域住民との交流の機会 など

問7 介護保険サービスの提供を増やすほど、国民の負担（介護保険料や公費（税金）＝介護給付費）が増えます。今後の介護保険サービスのあり方について、あなたのお考えにもっとも近いものを教えて下さい。

	人数	割合
1 負担が増えても構わないので、少しでも多くの人が入所できるよう、介護保険施設の整備(施設サービスの充実)を進めてほしい	92	16.8%
2 負担が多少増えても構わないが、在宅サービスとバランスをとりながら、介護保険施設の整備を進めてほしい	252	46.0%
3 負担があまり増えないよう、在宅サービスの利用を中心とし、介護保険施設の整備はなるべく抑制してほしい	106	19.3%
4 負担が増えるので、介護保険の各種サービスは増やさないでほしい	24	4.4%
5 わからない	40	7.3%
6 その他	34	6.2%
計	548	100.0%



[その他意見]

- ・税金の使い方を見直したうえで、個人の負担を増やさず、税金で対応すべき
- ・サービスを維持するために必要ならば、個人負担を増やすことも必要
- ・こまめに介護認定を更新し、不要な介護サービスをやめれば、介護保険料の抑制につながる
- ・家族だからこそできることもある。要介護になったら即施設へという単純な考えではいけない
- ・介護の現場の大変さをもっと多くの方に知ってもらわなければならない。業務に見合った収入、介護職員への身体的ケアなど、介護職員に対する施策をお願いしたい など